

Topics 宇美南中学校 学校訪問



7月11日(火)、宇美南中学校の学校訪問を行った。宇美南中学校は「志をもち、宇美町の未来を創る生徒の育成」を目標に掲げ、校訓である「向学」「自立」「友愛」を通じて、創意工夫しながら教育の実践を行っている。

はじめに、複数の授業を見学した。生徒のやる気を引き出すような仕掛けが設けてあり、校内で統一した取組がなされていた。授業終了後は学校長や先生方と意見交換を行い、学校現場の現状を再確認する機会となった。

本町の教育環境を整えるため、本委員会では引き続き調査研究を行っていく。

Topics 医療費適正化に向け「大腸がん検診」を推進

健康課医療費適正化推進室 報告

本町の国民健康保険および後期高齢者医療の1人当たりの医療費は、長い間、県内自治体の中でも上位にある。その要因や医療費適正化に向けた取組について、幾度となく質疑を行っている。これを受け、町は本年7月に実施した機構改革で医療費適正化推進室を発足させた。

今年度、本町の国民健康保険は高医療費市町村に指定されている。70～74歳の1人当たりの医療費が増額し、とりわけ大腸がん等が県と比較して特に高く、医療費の増加が顕著であることから、早期発見により医療費の高騰を防ぐ見込みのある大腸がんに絞り検診受診勧奨を行う。

本委員会としても、医療費は保険料の増額に直結し、町民生活に影響を及ぼすため、今後も医療費適正化に向けた事業の効果・展開に注目していきたい。



大腸がん検査キット

… 議会改革調査特別委員会 …

Topics 議員報酬改定の論議が始まる

令和3年3月に「議員定数削減に関する請願」を受理したことをきっかけに、議員定数条例を改正し、令和4年3月6日から議員定数を2名削減した。その請願の理由の中に、「議員のなり手不足解消のため、2名分の報酬を原資に議員報酬の増額の検討を」とあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により町民の生活が苦しい中、議員報酬の見直しを検討することは保留となっていた。

全国の地方議会でも立候補者の減少や若手議員・女性議員のなり手不足は問題となっており、近隣自治体でも報酬の改定が行われている。

これらの状況を踏まえ、8月から本委員会を開催し、議員報酬の改定の必要性及び政務活動費の復活について議論を始めた。